

2019年度 認定留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：イギリス リーズ大学

留学期間：2019年2月～2019年12月

私は今回の留学を通して、英語で様々な場面で活躍し自信を持つことができました。学校や機関を通して、コミュニティを増やし、英語を使うことを必須とする場所に身を置き、無理矢理英語を体に叩き込むような感じで留学生生活をスタートし、帰る頃には、周りが大切な友達でいっぱいになりました。

留学が始まってから3ヶ月は常に喪失感とホームシックを感じていました。同じ学校から来る友達がいなかったため、知らない人に話しかける勇気を出すことから始まり、まず、日本人留学生が多いことに驚きました。周りでは、日本語が飛び交い、仕方なく日本人との友人作りから始めました。授業では当然英語を使いますが、やはり日本人が多いため、時々日本語で話しかけられることもあり、英語だけの環境に身を置きたいと留学を決意したので、すごくストレスを感じていました。一体、これで英語を身につけて帰国をすることができるのかと負担になりました。そこで、プライベートはなるべく日本人と過ごさないように、世界各国からの留学生が英語でコミュニケーションをするための語学カフェに参加しました。そこで、たくさん友達が出来、ランゲージパートナーを見つけることが出来ました。日本人のコミュニティから離れるのはすごく難しかったですが、自分なりに留学をより良いものにするために精一杯努力しました。

その後、寮からホームステイに移りました。寮の延長を忘れてしまい、ランゲージパートナーにホストファミリーを紹介してもらうことが出来ました。ホームステイにあまり良い話は聞いていなかったし、住むところがなくなることに焦りと不安を感じていましたが、ホストファミリーとの生活が私の留学生活の1番の思い出となりました。

長期休みはたくさん旅行をしました。1人で海外旅行することで、現地で友達が出来、自分のペースで観光することができました。自分で計画すること、時間通りに動くこと、周りに注意すること。旅行からたくさんのお話を身につけることができました。

毎週日曜日には教会に行き、キリスト教を学びました。ほぼ毎日のようにキリスト教の友達に会い、楽しい時間を過ごしました。私自身も洗礼を受ける決意をし、毎週通うホームチャーチで友達とホストファミリーに見守られながら、キリスト教に入信しました。いろんな価値観があってそれを知ろうとすることを意識して過ごしました。価値観が違えばそれを非難するのではなく、それを知ろうとすることを意識して過ごしました。価値観が違えばそれを非難するのではなく、それを尊重することが大切だと思うこともこの留学を通して得たものです。留学先で出会った講師や仲間には感謝しています。